

津田 学（大学院保健福祉学研究科兼務）

8 学内教育活動

- 1) 生物学概論
- 2) 細胞生物学
- 3) 生物学基礎実験（栄養学科）
- 4) 生物学基礎実験（看護学科、リハビリテーション学科、社会福祉学科）
- 5) 分子生物学
- 6) 文献検索とクリティーク
- 7) バイオテクノロジー基礎実験

9 学内各種委員会活動

- 1) 総務企画委員会委員
- 2) 学科長会議委員
- 3) 学長補佐会議委員
- 4) 教育研究審議会委員
- 5) 合同会議(役員会・経営審議会・教育研究審議会)委員
- 6) COI 委員会委員
- 7) 将来構想委員会
- 8) 地域貢献研究センター運営会議委員
- 9) 入試判定委員会委員
- 10) 教員任期委員会委員
- 11) 教員昇任審査委員会委員
- 12) 人総学科内専任教授会議議長
- 13) 人総学科会議議長

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) ショウジョウバエを用いたアマゾン原産果物ガラナによるメチル水銀耐性機構の解析
科学研究費助成事業 基盤研究（C） 津田学（代表） 1,100千円

木村 芳滋（大学院保健福祉学研究科兼務）

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本マスマスペクトル学会評議員
- 2) ISO/TC201 WG4 (国際標準化機構・表面化学分析技術委員会・バイオ作業部会) 主査
- 3) 日本学術振興会 R026 先端計測技術の将来設計委員会 委員

9 学内各種委員会活動

- 1) 研究委員会委員
- 2) 動物実験専門部会員
- 3) 大学院入試委員会委員
- 4) 自己評価専門部会部会長

11 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 B (奨励研究) 「質量分析イメージング法を用いたモデル生物の領域特異的分子の探索」

14 その他

1) 国際共同研究

Abdullah Gül 大学 (トルコ) Oktay Kaplan 博士 「線虫の細胞内輸送解析」
アイルランド国立大 Oliver Blacque 准教授 「線虫のチューブリン翻訳後制御解析」
コロンビア大学(米国) Martin Chalfie 教授 「線虫運動ニューロンの IMS 解析」

2) 国内共同研究

浜松医科大学 瀬藤光利教授 「線虫の質量分析イメージング」
成蹊大学理工学部 青柳里果教授 「線虫の TOF-SIMS 解析」
東京大学薬学部 浦野泰照教授 「線虫 IMS 解析に用いるマーカーの開発」
アルバックファイ株式会社 「高解像度質量分析イメージングによる線虫 C.エレガンスの細胞構造解析」

関 勝

1 著書

- 1) 関 勝. リハビリテーション医学 (第4版・第7刷). 医歯薬出版, 東京, 2021
- 2) 関 勝. リハビリテーション医学テキスト改訂第5版. 南江堂, 東京, 2021, in press
- 3) 関 勝. リハビリテーション概論 (第1版・第1刷). 南江堂, 東京, 2021, in press

2 学術論文

- 1) Takahashi H, Seki M. Evaluation for Quality of Life (QOL). The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 57, 1174-1180, 2020

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) JISPRM(The Journal of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine) potential Editorial Reviewer
- 2) Progress in Rehabilitation Medicine Editorial Reviewer
- 3) ICME (institute of complex medical engineering) councilor (2020年度再選)
- 4) Disability Rehabilitation: Journal Editorial Reviewer
- 5) JJCRS: Editorial Board
- 6) 厚生労働省 (公益財団法人柔道整復研修試験財団) 国家試験委員会・幹事委員 (柔道整復師)
- 7) 厚生労働省 (公益財団法人社会福祉振興試験センター) 国家試験委員会委員 (介護福祉士)
- 8) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・代議員 (2020年度再選)
- 9) 第57-58回日本リハビリテーション医学会学術集会委員 (プログラム・査読等)
- 10) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・学術部委員
- 11) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・専門医試験委員会特別委員
- 12) 慶應義塾大学医学部・慶應医学会オフィシャルメンバー
- 13) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・リハ基礎医学SIGメンバー
- 14) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・脊髄障害SIGメンバー
- 15) 神奈川リハビリテーション研究会・幹事

5 社会貢献

- 1) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科非常勤講師 (スポーツマネジメント専攻)
- 2) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会代議員
- 3) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・学術部委員
- 4) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・専門医認定試験委員会特別委員
- 5) 横須賀市医師会地域リハビリテーション連絡会世話人
- 6) 三浦半島リウマチ懇話会理事
- 7) 三浦半島リウマチトータルケア懇話会世話人
- 8) 公益財団法人横浜 YMCA 学院作業療法学科非常勤講師 (リハビリテーション医学)
- 9) 学校法人日本医療科学大学保健医療学部非常勤講師 (リハビリテーション医学)

- 10) 学校法人日本福祉教育専門学校言語聴覚療法科非常勤講師（リハビリテーション医学）
- 11) 慶應義塾大学病院・埼玉医科大学国際医療センター・その他国公立病院および医院等からのコンサルテーション等連携実践

6 講演, 放送

- 1) 教育講演（専門医・臨床認定医）；「リハビリテーション関連専門職に対する教育」, 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2021, 京都, in press

7 学会等（リモートによる）での活動（大学教員実務経験を踏まえた専門医・認定臨床医・指導責任者等更新認定義務研修含む）および研究

- 1) 19th ICME (institute of complex medical engineering) Council Meeting (2020)
- 2) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会 2020 年度代議員総会, 京都
- 3) 第57回日本リハビリテーション医学会学術集会(2019), 京都
- 4) 公益社団法人日本リハビリテーション秋季医学会 2020 年度代議員, 神戸
- 5) 第57回日本リハビリテーション医学会学術集会（京都）プログラム委員（2020）
- 6) 第57回日本リハビリテーション医学会学術集会（京都）演題査読委員（2020）
- 7) 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会（京都）プログラム委員（2021）
- 8) 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会（京都）演題査読委員（2021）
- 9) 第31回日本臨床スポーツ医学会学術集会（2020）, 宮崎
- 10) 第50回日本臨床神経生理学会学大会（2020）, 京都
- 11) Stroke2020；第45回日本脳卒中学会学術集会 2020）, 神奈川
- 12) Stroke2020；第49回日本脳卒中の外科学会学術集会（2020）, 神奈川
- 13) Stroke2020；第36回 spasm symposium（2020）, 神奈川
- 14) 第7回日本心血管脳卒中学会学術集会（2020）, 神奈川
- 15) 第85回日本温泉気候物理医学会総会・学術集会（2021）, 東京
- 16) 三浦半島リウマチトータルケア懇話会・世話人（2020）, 神奈川
- 17) 神奈川リハビリテーション研究会・幹事（2020）, 神奈川
- 18) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会専門医・特別試験委員（2020）, 東京
- 19) 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室および大学院・埼玉医科大学国際医療センター・その他国公立大学・病院・医院との研究連携

8 学内教育活動

- 1) 2020 年度全担当科目講義視聴覚教材製作・科目責任者等
以下全担当科目
（看護）疾病と治療 I
病態治療学
（栄養）臨床医学概論
（社福）リハビリテーション論
人体の構造と機能および疾病
（リハPT専攻・OT専攻）リハビリテーション概論
リハビリテーション医学

神経内科学
脳神経外科学
整形外科学Ⅰ
整形外科学Ⅱ
内科学Ⅰ
内科学Ⅱ

9 学内各種委員会活動

- 1) FD・SD 委員会委員
- 2) 教員選考委員会委員
- 3) 入学試験（推薦帰国社会人・センター・前期および後期入試）面接・業務委員
- 4) 教授会構成員
- 5) 各種 FD 講演参加
- 6) 研究倫理コンプライアンス教育研修実施
- 7) 教員昇任審査学科内委員会委員
- 8) 学科専任教授会構成員・学科会議構成員・書記
- 9) その他学事等関連会議等

14 その他

- 1) 一般社団法人日本温泉気候物理医学会・療法医資格更新
- 2) 一般社団法人日本脳卒中学会・専門医資格更新

生田 倫子(大学院保健福祉学研究科兼務)

1 著書

- 1) 「教育分野に生かす個と家族を支える心理臨床：家族心理学年報」生田倫子（共著）
2020，金子書房.

2 学術論文

- 1) 「保健・医療・福祉分野の大学生における地域貢献活動への参加状況と同活動参加の支援ニーズ」城川 美佳;大島 憲子;小河原 格也;畑中 高子;山本 妙子;生田 倫子;杉山 みち子;金 龍哲，2020，神奈川県立保健福祉大学誌 17(1).

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本心理臨床学会，支援活動委員，
支援活動委員として，震災復興支援に関する調査やプログラムの作成を行っている。
2013年12月～現在
- 2) 日本家族心理学会，常任理事，編集委員。
常任理事会に年7回出席し，学会運営業務を行っている。2007年6月～現在
- 3) The International Academy of Family Psychology, Secretary, Board. (国際家族心理学会，事務局長，常任理事.)
事務局長として，学会の運営業務を行っている。2011年8月～現在
- 4) 日本ブリーフセラピー協会，常任理事。
常任理事会に，年6回出席し，学会運営業務を行っている。2007年4月～現在
- 5) 内閣府青少年インターネット環境整備企画分析委員会委員
- 6) 横浜市教育委員会学校課題解決支援事業専門家

5 社会貢献

- 1) 神奈川大学非常勤講師『学校臨床心理学特論』
- 2) 北海道医療大学非常勤講師『心理支援に関する理論と実践』『家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践』
- 3) 社会福祉法人児童養護施設手まり学園 研修・スーパーヴァイズ・コンサルテーション

6 講演，放送

- 1) 千葉県福祉介護実習センター県民研修講師
- 2) 海上保安庁第三管区海上保安本部 メンタルヘルス講習会 講師
- 3) 海上保安庁第三管区保安本部・横浜海上保安部・横須賀海上保安部 メンタルヘルス研修、セクハラ・パワハラ講習会 講師
- 4) 東京都特別区職員研修所事業 「中堅保育士」講師
- 5) 横浜市西部児童相談所家族療法事業事例検討会 講師

7 学会等での活動

- 1) 「日本における家族療法／短期療法の過去・現在・未来」2020年9月20日 日本家族心理学会第37回大会 準備委員会企画シンポジウム 話題提供
- 2) 「世界のブリーフセラピストとのダイアログ」2020年10月10日 日本ブリーフセラピー協会第12回学術会議

8 学内教育活動

1) 学部

心理学, 教育心理学, 発達心理学, 人間発達学, ボランティア市民活動論, 文献検索とクリティック, 教職実践演習(養護教諭), 総合演習(養護教諭), 保健医療福祉論Ⅰ, ヒューマンサービス論

2) 大学院

コンサルテーション論(博士前期課程)
対人援助特論(博士後期課程)の講義
博士後期課程院生の副指導教員

3) その他

国際ボランティアサークル「アナーコット」顧問
ボランティアサークル「スカイキッズ」顧問
チューター業務
博士課程後期副査

9 学内各種委員会活動

- 1) 教員免許状更新講習運営会議委員 通年
- 2) 広報委員会委員 通年
- 3) 研究科運営委員会委員 通年
- 4) 入試作問委員 通年
- 5) 研究科合否判定委員 通年

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 平成29-平成31年度(記載は通知書の通り) 科学研究費補助金基盤研究(C)問題解決力を持つ家族システムの解明ー統合情報理論の家族システム理論への応用ー【研究分担者】
- 2) 平成30-32年度(記載は通知書の通り) 科学研究費補助金基盤研究(C) 相談者ニーズに沿った包括的効果尺度を用いた効果的な心理療法のモデル化に関する研究【研究分担者】

佐竹 弘行（大学院保健福祉学研究科兼務）

5 社会貢献

- 1) WEB オープンキャンパスの動画：人間総合科の紹介部分の作成及び出演（全般を担当）

7 学会等での活動

- 1) 佐竹弘行，「水素結合及び疎水性相互作用を利用するカリックスアレーン-小分子リガンド併用型簡易生体関連分子蛍光検出法の開発に関する検討」，日本薬学会第 141 年会，2021 年 3 月（オンライン開催）

8 学内教育活動

- 1) 化学概論（全学科対象，前期，**科目責任者**）
- 2) 基礎有機化学①（栄養学科対象，前期，**科目責任者**）
- 3) 基礎有機化学②（栄養学科以外の学科対象，前期，**科目責任者**）
- 4) 保健医療福祉論 I（全学科対象，学生間の意見交換におけるファシリテーター担当）
- 5) 文献検索とクリティーク（社会福祉学科（A クラス）対象，後期，クリティーク部分を担当）
- 6) 英語（保健医療福祉のための英語Ⅱ）①（看護学科（A クラス）対象，後期，**科目責任者**）
- 7) 英語（保健医療福祉のための英語Ⅱ）②（看護学科（B クラス）対象，後期，**科目責任者**）
- 8) 物理学（全学科対象，後期，**科目責任者**）
- 9) 薬の基礎科学（全学科対象，後期後半，**科目責任者**）

9 学内各種委員会活動

- 1) 学部入試委員会（本学の入試に関する各種業務等）（通年）
- 2) 地域貢献研究センター地域貢献部門（**自己評価専門部会委員**担当，本学の地域貢献に関する各種業務等）（通年）
- 3) 令和 2 年卒業式・修了式実行委員会（卒業式，式場内誘導整理係）（2021 年 3 月）

福田 平 (大学院保健福祉学研究科兼務)

2 学術論文

- 1) Hiroko Yazawa, Taira Fukuda, Hiroyuki Kaneda, Ryutaro Waku, Masashi Sakuma, Akihiro Matsumoto, Shigeru Toyoda, Shichiro Abe, Fumitaka Nakamura, Teruo Inoue, Toshiaki Nakajima. Association of serum growth differentiation factor-15 with eGFR and hemoglobin in healthy older females. *International Journal of Cardiology Heart & Vasculature*, 2020; 31: 100651.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本内科学会 (認定医・総合内科専門医)
- 2) 日本循環器学会 (専門医)
- 3) 日本心臓リハビリテーション学会 (心臓リハビリテーション指導士)
- 4) 日本体力医学会
- 5) 日本臨床スポーツ医学会

5 社会貢献

- 1) 十文字学園女子大学非常勤講師 (安全救急法演習)
- 2) 獨協医科大学との共同研究

7 学会等での活動

- 1) 金田 宇行、福田 平、松本 晃裕、廣瀬 優、柴崎 郁子、小尾 正太郎、豊田 茂、山口 すおみ、天野 裕久、有川 拓男、八木 博、阿部 七郎、福田 宏嗣、井上 晃男、中島 敏明：「女性健常高齢者および心疾患患者における血清 GDF-15 濃度とサルコペニアとの関連についての検討」、第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 (オンライン (福岡) : 2020 年 7 月 18 日 - 19 日)。
- 2) 石坂 勇人、水嶋 優太、野澤 直広、片柳 聡、松本 和久、高橋 玲子、荒川 智江、半井 美幸、岡野 美貴子、山口 すおみ、豊田 茂、金田 宇行、福田 平、松本 晃裕、井上 晃男、中島 敏明：「インピーダンス式非侵襲心拍出量計による和温療法中の心拍出量の即時的変化」、第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 (オンライン (福岡) : 2020 年 7 月 18 日 - 19 日)。
- 3) 矢澤 寛子、福田 平、金田 宇行、春山 亜希子、松本 晃裕、廣瀬 優、豊田 茂、井上 晃男、中島 敏明：「女性健常高齢者および心疾患患者の血清 GDF-15 濃度とサルコペニアとの関連について」、第 57 回日本臨床生理学会総会 (オンライン (千葉) : 2020 年 10 月 17 日 - 18 日)。
- 4) Taira Fukuda, Hiroko Yazawa, Hiroyuki Kaneda, Takahisa Nasuno, Shigeru Toyoda, Shichiro Abe, Teruo Inoue, Toshiaki Nakajima. Association of Serum Growth Differentiation Factor-15 With Egfr, Hemoglobin and Sarcopenia in Healthy Community-dwelling Older Females. *American Heart Association Scientific Sessions 2020 (Online (Dallas, Texas, USA))*: 2020 年 11 月 13 日 - 11 月 17 日)。
- 5) Taira Fukuda, Hiroko Yazawa, Hiroyuki Kaneda, Takahisa Nasuno, Shigeru Toyoda, Shichiro

Abe, Teruo Inoue, Toshiaki Nakajima. Association of Serum Growth Differentiation Factor-15 With Egfr, Hemoglobin and Sarcopenia in Community-dwelling Older Females. 第 85 回日本循環器学会学術集会（オンライン（横浜）：2021 年 3 月 26 日－28 日）。

8 学内教育活動

- 1) 臨床医学概論
- 2) 感染症学
- 3) 病理学
- 4) 病理学概論
- 5) 病態生理学
- 6) 内科学 I
- 7) 内科学 II
- 8) 人体の構造と機能および疾病

9 学内各種委員会活動

- 1) 衛生委員会委員
- 2) 時間割編成ワーキング委員
- 3) 実習センター運営委員会委員

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費助成事業 基盤研究 (C)、高齢化社会における GDF-15 を規定する因子の解明とサルコペニアの予防法の開発、福田 平，中島 敏明，松本 晃裕、4,420,000 円（2020 年 4 月 - 2023 年 3 月）。
- 2) 科学研究費助成事業 基盤研究 (C)、サッカー中の心拍出量の測定と GPS 位置情報で測定した試合中の走能力との関連の解明、松本 晃裕，福田 平，長浜 尚史，石山 隆之、4,290,000 円（配分額 50,000 円）（2019 年 4 月-2022 年 3 月）。

11 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 A（協働研究）助成金、高齢者における疫学的健康調査、福田 平，松尾 祐子，五味 郁子，渡部 月子、46,957 円（2020 年 4 月-2021 年 3 月）。

城川 美佳（大学院保健福祉研究科兼務）

2 学術論文

- 1) Inadera H, Takamori A, Matsumura K, Tsuchida A, Cui ZG, Hamazaki K, Tanaka T, Ito M, Kigawa M, Origasa H, Michikawa T, Nakayama SF, Isobe T, Takeuchi A, Sato T, Nitta H, Yamazaki S, the Japan Environment and Children's Study Group (2020). Association of blood cadmium levels in pregnant women with infant birth size and small for gestational age infants: The Japan Environment and Children's study. *Environmental Research*, 191, 110007, doi:org/10.1016/j.envres.2020.110007
- 2) Kigawa M, Tsuchida A, Ito M, Tanaka T, Hamazaki K, Adachi Y, Saito S, Inadera H, The Japan Environment and Children's Study Group (2020). Characteristics of Postpartum Japanese Mothers Who Were Non-respondents to the Japan Environment and Children's Study. *J. Pediatr. Congenit. Dis.*, 6(1), 1-8, doi.org/10.47275/2379-6707-105
- 3) Nose-Ogura S., Yoshino O., Dohi M., Torii S., Kigawa M, Harada M., Hiraike O., Kawahara T., Osuga Y., Fujii T. and Saito S. (2020). Relationship between tartrate-resistant acid phosphatase 5b and stress fractures in female athletes. *J. Obstet. Gynaecol. Res.*, 46(8), 1436-1442, doi:10.1111/jog.14256.

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本公衆衛生学会 代議員（通年）
- 2) 日本健康学会 評議員（通年），編集委員（通年）
- 3) 国際学校保健コンソーシアム 事務局委員（通年）
- 4) NPO 訪問看護ステーションコスモス 理事（通年）
- 5) 厚生労働省 新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する厚生労働省対策推進本部事務局参与（令和2年8月～令和3年3月）
- 6) 日本公衆衛生学会 認定専門家試験委員（令和3年1月～3月）

5 社会貢献

- 1) 神奈川県立横須賀高校の Super Science High school 事業において、高校1年生のグループに対する研究指導を行った。（通年）
- 2) 東京都台東区山谷地域で開催された路上生活者を対象とした健康相談会にボランティアとして参加した。（通年）
- 3) 東京都新宿区新宿保健所において、感染症法に基づく新方コロナウイルス感染症の積極的疫学調査に携わった。（令和2年7月～8月）
- 4) 沖縄県那覇市保健所において、感染症法に基づく新方コロナウイルス感染症の積極的疫学調査および当該調査におけるマニュアル作成に携わった。（令和2年8月～9月）
- 5) 東京都世田谷区世田谷保健所において、感染症法に基づく新方コロナウイルス感染症の積極的疫学調査に携わった。（令和2年12月～令和3年1月）
- 6) 神奈川県厚木保健福祉事務所大和センターにおいて、感染症法に基づく新方コロナウイルス感染症の積極的疫学調査に携わった。（令和3年1月）

- 7) WFP メンバーを中心にアジア諸国の担当者が参加する Asia SF Network に参加し、学校栄養・学校給食に関する学術交流を行った。(令和2年11月～令和3年3月)
- 8) UNESCO Chair に参加し、アジア諸国と学校保健分野における国際的な学術交流を行った。(通年)

6 講演, 放送

- 1) Kigawa M. (2020.11.), The history of school lunch program in Japan. Global Child Nutrition Forum.
- 2) 城川美佳. (2020.11.), 新型コロナウイルス感染症が流行していますー自分の身近で起きた時、また、起こさないために. 日産夏島会安全衛生セミナー

7 学会等での活動

- 1) 城川美佳. (2020.9.), コホート調査に参加同意した妊婦におけるベースライン調査の未回収に関連する要因 子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)参加者を対象に. 日本行動計量学会第48回大会, 誌上発表
- 2) 城川美佳. (2020.11.), 日本を母国としない女性を対象とした、妊娠から育児における、ヘルスリテラシーに基づいた情報提供のあり方. 第66回神奈川県公衆衛生学会, 誌上発表
- 3) 城川美佳, 土田暁子, 浜崎景, 稲寺秀邦. (2021.3.), 出生コホート研究参加女性における産後1か月質問票未回収の関連要因. 第91回日本衛生学会学術総会, 富山市

8 学内教育活動

- 1) 統計学におけるリモート講義用講義資料、およびグループワークのための資料作成
- 2) 疫学・社会調査におけるリモート講義用講義資料、およびグループワークのための資料作成
- 3) 公衆衛生学におけるリモート講義用講義資料、およびグループワークのための資料作成
- 4) 研究法 I および II におけるリモート講義用講義資料の作成

9 学内各種委員会活動

- 1) 研究倫理審査委員会 委員 (通年)
- 2) 地域貢献研究センター 研究支援部門 部門員 (通年)

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 城川美佳, 「ケイパビリティ (潜在能力) の保障のためのアジアの就学前児の発育発達評価方法の開発」, 平成31年度科学研究費補助金挑戦的研究 (萌芽) 研究代表者: 友川幸, 258,372 円, 平成31年4月～令和3年3月
- 2) 城川美佳, 「後開発途上国の ECD における健康増進活動の可能性と課題: 人間の安全保障の観点から」, 平成31年度科学研究費補助金基盤研究 (C) 研究代表者: 三宅公洋, 150,000 円, 平成31年4月～令和4年3月
- 3) 城川美佳, 「日本に中長期滞在する外国人に対する結核予防教育のあり方の検討～ネ

パールを対象に」, 令和 2 年度基盤研究(C) (課題番号 123250001), 900,000 円, 令和 2 年 4 月～令和 5 年 3 月

11 学内研究助成金の受託

- 1) 城川美佳, 「大学生のヘルスリテラシーと感染症予防行動との関連」, 学長推薦研究, 343,500 円, 令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月

高橋 和子

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本医学英語教育学会評議委員（通年）

5 社会貢献

- 1) 横須賀市役所交際交流担当者と協力し、横須賀市主催の「横須賀米軍基地内メリーランド大学特別英語講座」に関する広報活動を行なった
- 2) 慶應義塾大学医学部英語非常勤講師
- 3) 東京大学教養学部英語非常勤講師

6 講演，放送

- 1) 桐蔭横浜大学「桐蔭医用工学国際シンポジウム2020」（英語）発表「Combined Effect of FcγRIIB Deficiency and SLAMF2¹²⁹ on the Spontaneous Development of Murine Rheumatoid Arthritis-like Disease」Kazuko TAKAHASHI, Mareki OHTSUJI, Qingshun LIN, J. Sief. VERBEEK, Hiroyuki NISHIMURA, Sachiko HIROSE（11月，横浜）

8 学内教育活動

- 1) 英会話 I（4クラス）
- 2) 英語講読
- 3) 保健医療福祉のための英語 I
- 4) 保健医療福祉のための英語 II（3クラス）
- 5) 免疫学
- 6) 保健医療福祉論 I
- 7) 文献検索とクリティーク
- 8) 留学，英語資格試験の相談にお答え

9 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会委員
- 2) 進路支援ワーキンググループ委員（自己評価委員）
- 3) 国際協働専門部会委員，学部・大学院生を対象とした横須賀米海軍病院見学プログラム（コロナ禍により本年度は実施を控えている）

14 その他

- 1) 本学英語担当教員を対象に「Zoom 授業のための講習会」を開催（通年12回）
- 2) 本学教育研究活動のための英語文章制作支援、通訳支援を務めた